

新潟開港150周年記念

みなとまち新潟 歴史探訪⑪

問歴史文化課(☎025-226-2584)

住吉行列と湊祭

毎年8月に開催される新潟まつりは、民謡流しや花火大会などさまざまな催し物があります。その中でも、神輿や山車の行列が町を練り歩く住吉行列は、江戸時代の「湊祭」が始まりとされています。

湊祭は海の神様である住吉の祭神を祀る祭礼で、昼祭と夜祭に分かれていました。

昼祭では「御座船」と呼ばれる曳き物に乗った神輿が町を巡り、夜祭では、纏灯笼や提

灯を持った人々の行列が、夜の新潟の町を照らしました。初代新潟奉行を務めた川村修就が、新潟の風物を描かせた「蟹の手振り」の中にも、この夜祭の様子が描かれています=☒=。

修就は詞書の中で「笛・太鼓を鳴らし、行列が勇ましく進む姿を遠くまで見渡せば、おびただしい数の火影で、他の祭りでは見たことがない」と夜祭の行列の華やかさを表現しています。現在の新潟まつりのにぎわいと同様に、当時の祭りも活気にあふれたものでした。



湊祭の様子(夜祭) 「蟹の手振り」より
(新潟市歴史博物館蔵)